

日本橋の街全体が「金魚の街」に。江戸文化の息づく日本橋で楽しむ“江戸の涼み方”
『ECO EDO 日本橋 2017 ～五感で楽しむ、江戸の涼～』
2017年7月7日（金）～9月24日（日）日本橋地区で開催

ECO EDO 日本橋 実行委員会および名橋「日本橋」保存会は、日本橋地区において2017年7月7日（金）から9月24日（日）までの期間、今年で10回目となる日本橋地域の夏のイベント『ECO EDO 日本橋 2017 ～五感で楽しむ、江戸の涼～』を開催いたします。

『ECO EDO 日本橋』は、江戸時代に日本橋で育まれた“涼”をとる生活の知恵や工夫を現代流にアレンジした様々なイベントを街中で開催します。“見て”涼を感じる「金魚」・「提灯」、 “食べて”涼をとる「限定スイーツ」、 “着て”涼をとる「浴衣」、 “江戸の知恵”が詰まった「舟遊び」など、日本情緒溢れる納涼気分を五感で体感いただけます。今年は初めて、金魚モチーフの料理やアルコールメニューを街全域で提供する「金魚スイーツ&バルさんぽ」を展開し、日本橋の涼を盛り上げます。

また連携施策として水中アート展覧会『ECO EDO 日本橋 アートアクアリウム 2017 ～江戸・金魚の涼～ & ナイトアクアリウム』や、金魚のデコレーションが施された観光船でのクルージング、アートアクアリウムと日本橋三越本店がコラボした一般参加型のフォトコンテスト、金魚すくい日本一を決める「日本橋金魚すくいグランプリ」など、さまざまなコンテンツを日本橋広域に渡り展開いたします。



<金魚大提灯(※昨年の様子)>



<ゆかた・アートアクアリウム <ECO EDO 日本橋 2017 ～五感で楽しむ、江戸の涼～ チケット特典>



<ECO EDO 日本橋 2017 ～五感で楽しむ、江戸の涼～ メインビジュアル>



<金魚スイーツ&バルさんぽ メニュー一例>



<金魚グッズ一例>

「ECO EDO 日本橋 2017 ～五感で楽しむ、江戸の涼～」実施概要

期 間：7/7(金)～9/24(日)

問い合わせ先：日本橋案内所 03-3242-0010 7/7(金)～9/24(日) 10:00～21:00

W E B：「まち日本橋」内予告ページ ※5/24(水)公開

■日本語版 <http://www.nihonbashi-tokyo.jp/special/ecoedo2017/>

■英語版 <http://www.nihonbashi-tokyo.jp/en/special/ecoedo2017/>

主 催：ECO EDO 日本橋実行委員会、名橋「日本橋」保存会

総プロデューサー：木村英智（アートアクアリウムアーティスト）



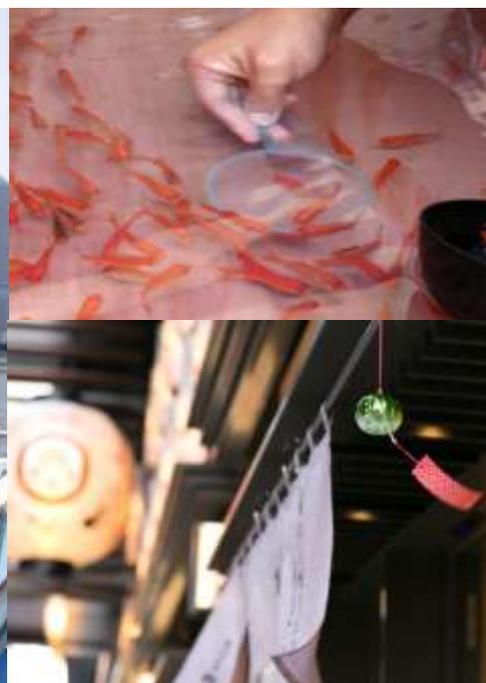
ECO EDO 日本橋 2017 ～五感で楽しむ、江戸の涼～
メインビジュアル

<主催イベント一覧>

催事名	開催日	開催場所
① 金魚スイーツ&バルさんぽ	7/7(金)～9/24(日)	日本橋各所
② 金魚大提灯	7/7(金)～9/24(日)	仲通り
③ ゆかた・アートアクアリウムチケット特典	7/7(金)～9/24(日)	日本橋各所

<連携イベント一覧>

催事名	開催日	開催場所
④ ECO EDO 日本橋アートアクアリウム2017 ～江戸・金魚の涼～ & ナイトアクアリウム	7/7(金)～9/24(日)	日本橋三井ホール
⑤ アートアクアリウム2017×日本橋三越本店 フォトコンテスト ～富士フィルム「PHOTO IS」想いをつなぐ。50,000人の写真展」スピンオフ～	8/9(水)～8/14(月)	日本橋三越本店
⑥ 日本橋納涼金魚ちょうちん船2017	8/1(火)～8/30(水)の火・水・木曜日 ※8/15(火)、8/16(水)は運休	日本橋船着場
⑦ 日本橋エリアの金魚グッズ	未定	日本橋案内所(コレド室町1 地下1階)



※画像は過去の画像もしくはイメージです

<ECO EDO 日本橋 2017 期間中の主催イベント>

初実施!

① 日本橋の食でおもてなし「金魚スイーツ&バルさんぽ」

日本橋・人形町エリアの商業施設・老舗など 76 店舗 (5 月 23 日時点) で、昨年も大人気の金魚をモチーフにしたスイーツや、今回初めてバルメニューや日本橋の地酒などアルコールメニューの提供を実施します。各店ご利用でエリア毎に異なるオリジナルノベルティがプレゼントされます。また 3 エリアで異なるスタンプを全て集めると豪華な景品が当たる抽選会にも参加いただけます。

期 間：7 月 7 日(金)~9 月 24 日(日) ※店舗により異なる

各メニュー例：※メニュー名・商品画像は全て予定です。



箔座日本橋
金の珈琲ゼリー 宵ノ金魚



グルメショップ
by マンダリン オリエンタル 東京
マンダリン オリエンタルの水ようかん



日本橋三越本店 京菓匠 鶴屋吉信
金魚の涼



日本橋高島屋 依屋吉富
創作羊羹 水灯り



にんべん日本橋本店
冷やしおでん



餃子と炙り こけっこ
金魚が泳ぐハイボールモヒート



マンダリン オリエンタル 東京
オリエンタルラウンジ
アフタヌーンティー “サマー”

② 福德神社の参道を金魚一色に染め上げる「金魚大提灯」

福德神社に続く参道「仲通り」に金魚柄の巨大な提灯が登場します。ECO EDO 日本橋 2017 総合プロデューサー木村英智氏 (アートアクアリウムアーティスト) がデザインを監修。仲通りに並ぶ通常サイズの提灯も期間中は金魚柄となり、涼しげで粋な金魚街道を作り出します。

期 間：7 月 7 日(金)~9 月 24 日(日) ※予定

場 所：仲通り(コレド室町 1・2 の間)

提灯サイズ：高さ約 1.8m×幅約 1.6m



昨年の様子

③ 160 を越える店舗で楽しめる「ゆかた・アートアクアリウムチケット特典」

老舗店舗を含む参加店舗で、浴衣着用、もしくはアートアクアリウム 2017 のチケット提示で、ワンドリンク無料や涼アイテムプレゼントなどの街歩きに嬉しい限定サービスを提供いたします。

期 間：7 月 7 日(金)~9 月 24 日(日)

参加店舗：168 店舗(5 月 23 日時点)



伊勢重 (すき焼き・和牛料理)
ご夕食コースをお食事された方に夏に最適な牛佃煮(伊勢重特製)をプレゼント※要予約(当日予約可)



ミカド珈琲店 日本橋本店(カフェ)
2・3 階喫茶室をご利用のお客様に、日本橋ブレンドワンパック 1 枚プレゼント。



日本橋 箸長(コレド室町 3)
ご購入された方に使いやすいお箸 1 膳プレゼント。



まかないこすめ(コレド室町 3)
税込 3,240 円以上ご購入された方に限定あぶらとり紙プレゼント。

<ECO EDO 日本橋 2017 期間中の連携イベント>

④ 「ECO EDO 日本橋アートアクアリウム 2017 ～江戸・金魚の涼～ & ナイトアクアリウム」

『ECO EDO 日本橋 2017』総合プロデューサー木村英智氏（アートアクアリウムアーティスト）が手掛ける水中アート展覧会。今年は“龍宮城”をコンセプトに、玉手箱をモチーフにした新作が登場し、江戸時代に日本橋で金魚が庶民文化として根付き、金魚を觀賞して涼をとっていた文化を現代に蘇らせ、江戸時代の花街に迷い込んだかのような非日常的“涼”世界を会場内で展開いたします。

期 間：7月7日(金)～9月24日(日)

場 所：日本橋三井ホール(コレド室町1 5階 ※エントランスは4階)



◆ 金魚と日本橋の歴史

金魚は、江戸時代に日本橋界隈を中心に花開いたと言われる世界に誇る日本の生活に根付いた文化です。室町時代では大変な贅沢品だったといわれていますが江戸時代になると、武士や豪商が屋敷の池で金魚を飼うようになり、金魚は街を彩る「華」としてもはやされ、暑い夏には「涼」として素敵に飾られました。庶民でも手に入れられるようになった江戸後期には、浮世絵や家具・着物の柄に描かれるほど金魚ブームが起こり、今日までつづく日本独自の金魚文化が発展する礎となったのです。



ECO EDO 日本橋 2017
総合プロデューサー木村英智氏
(アートアクアリウムアーティスト)

初実施!

⑤ 「アートアクアリウム 2017×日本橋三越本店 フォトコンテスト」

～富士フィルム「PHOTO IS」想いをつなぐ。50,000人の写真展」スピノフ～

アートアクアリウム 2017 と日本橋三越本店がコラボレーションした一般参加型のフォトコンテスト。期間中にアートアクアリウム会場内で撮影した写真を現像し専用の台紙(有料)に貼って郵送すると、漏れなくフォトブースへ写真が展示されます。また優秀作品には表彰式への招待と景品をプレゼントします。

エントリー期間：7月7日(金)～7月25日(火) 消印有効

台紙販売期間：7月7日(金)～7月23日(日)

台紙販売会場：①日本橋三越本店新館1階日本橋口 ②コレド室町1 日本橋三井ホール本会場

※①②のチケットブースのみで販売 ※販売時間は店舗・会場の営業時間に準ずる

展 示 期 間：8月9日(水)～8月14日(月) ※最終日 18:00 閉場

展 示 会 場：日本橋三越本店 新館7階ギャラリー及び本館・新館各所 ※応募作品は全て展示

表 彰 式：8月13日(日)12:30～ 日本橋三越本店新館7階ギャラリー ※総合プロデューサー 木村英智氏来店予定

問 合 せ 先：日本橋三越本店 大代表：03-3241-3311

<併催>

イベント名：NIHOMBASHI ART PHOTO EXHIBITION 2017(仮称)

開催期間：8月9日(水)～8月14日(月) ※最終日 18:00 閉場

会 場：日本橋三越本店新館7階ギャラリー

※内容変更の場合あり

⑥ 「日本橋納涼金魚ちょうちん船 2017」

山口県柳井市の特産品『金魚ちょうちん』を飾った納涼船で夜景クルーズをお楽しみいただけます。

期 間：8月1日(火)～8月30日(水)の火・水・木曜 ※8月15日(火)、16日(水)は運休

コ ー ス：日本橋船着場～日本橋川～隅田川(往復)

料 金：大人 3,500円 / 小学生 2,000円(税込)

問合せ先：新日屋 <https://www.shinnichiya.com/>

⑦ 「日本橋エリアの金魚グッズ」

ECO EDO 日本橋 2017 のテーマ“金魚”をモチーフにしたオリジナル商品が多数登場いたします。

日本橋老舗の金魚グッズ 一例(仮)



伊場仙『扇子セット 金魚』

料金：3,456円(税込)

店舗：日本橋案内所(コレド室町1)

扇面の素材に綿と麻を使い、金魚の絵柄をあしらった夏にぴったりの涼しげな扇子。扇子袋とセットなので、持ち歩きにも便利です。



有便堂『モビール 絹てまり 金魚』

料金：大 1,620円 小 1,296円(税込)

店舗：日本橋案内所(コレド室町1)

絹糸で丸く形作られた絹てまり。かすかな風でもくるくる・ゆらゆらと揺れてまわる癒やしのモビールです。



樽原『六角筆筒 金魚』

料金：1,080円(税込)

店舗：日本橋案内所(コレド室町1)

波間を泳ぐ金魚の模様と、薄く透ける和紙の繊維が涼しげな筆筒。

ECO EDO 日本橋とは

2008年8月、名橋「日本橋」保存会や地元団体、企業などが中心となり「ECO EDO 日本橋 実行委員会」を設立。「人と人、人と自然のつながりを大切にしていた江戸の人々の共生の精神を今に伝え日本橋ならではの新たなスタイルを創造し、発信するまちへ」をテーマに掲げ、『ECO EDO 日本橋 宣言』を行いました。

ECO EDO 日本橋 宣言

江戸のまちに暮らす人々は、モノを大切に使い、
自然とも共生する知恵と技術で、循環型社会を実現していました。

持続可能な「平和」の時代を支えていたのは、
人と人とのつながりを重んじる心、
自分勝手なふるまいを慎み、自分も周りも気持ちよく暮らす生き方です。

雨の日、狭い路地ですれ違う時に傘を外側に傾ける「傘傾げ」もその一つ。

互いに濡れないようにという「思いやり」の気持ちと、
傘が破れないようにという「モノを大切に使う」気持ちがあります。

ECO EDO 日本橋とは、
そんな江戸のまちに息づいていた共生の精神をいまに伝え、
日本橋ならではの新たなスタイルを創造し、発信するまち。

■ 名橋「日本橋」保存会とは

天下の名橋であり、五街道の起点である「日本橋」が高速道路によって覆われ、美観が損なわれてしまったのは1963年のこと。この「日本橋」を蘇らせ、少しでも良い状態で後世に伝えたいと、1968年に本会が発足しました。現在は「橋洗い」など様々なイベントを通して、日本橋のPR活動を行っています。

※ECO EDO 日本橋の詳細は、6月下旬頃に配信する第2弾ニュースレターで最新情報をお届けします。